

平成 27 年秋期 情報セキュリティスペシャリスト試験合格発表 分析コメントと今後の対策

(株) アイテック IT 人材教育研究部 2015,12,18

10 月 18 日 (日) に行われた平成 27 年秋期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系 5 試験の合格発表がありました。同時に発表された得点分布などの統計データをもとに、情報セキュリティスペシャリスト試験の合格発表コメントをお知らせします。

■情報セキュリティスペシャリスト試験 (SC)

[平成 27 年秋期の情報セキュリティスペシャリスト試験 統計情報]

応募者	28,274 人
受験者	18,930 人
合格者	3,141 人
合格率	16.6%

平成 27 年秋期の情報セキュリティスペシャリスト試験の合格率は 16.6% で、前回の 14.5% に対して 2% ほど増加しており、初回の平成 21 年春期から 2 番目に高い合格率でした。まず、午前 I と午前 II の試験の分析結果をお知らせします。

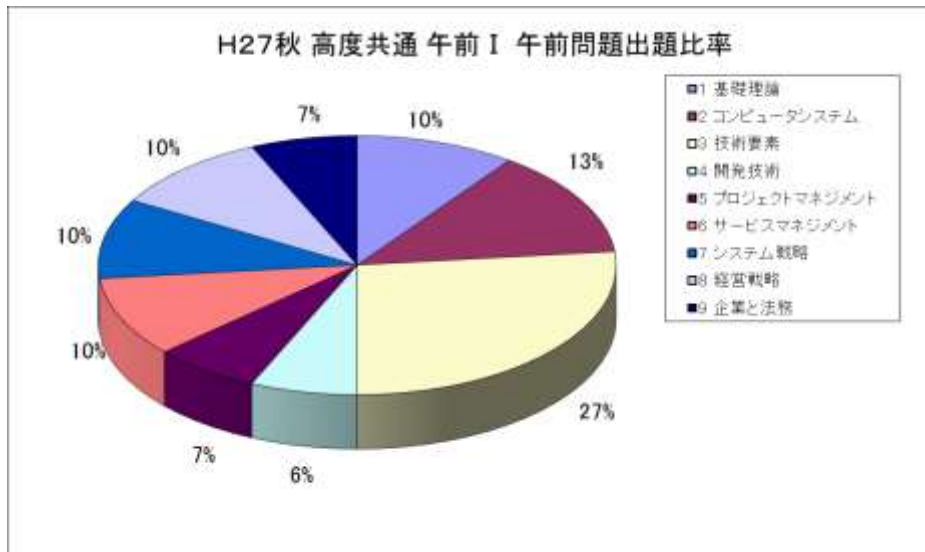
(午前 I 試験 (高度試験の共通知識問題))

- ・高度試験に共通して出される問題 30 問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験 (AP) から選ばれています。これまで、AP の問題の中でも比較的素直で常識的な問題が選ばれていましたが、基礎理論の計算問題が少し難しかったといえます。
- ・過去問題の比率は約 6 割で従来どおりの比率といえます。また、新傾向問題は前回より少ない 4 問の出題数でした。
- ・分野別の出題比率は前回と同じで、出題範囲の中で 23 ある中分類からまんべんなく出題されていますが、重要な内容 (中分類) からは複数出題されています。前々回からセキュリティ分野を重視した出題に変わりましたが、出題数は前回と同じ 4 問でした。
- ・新傾向問題は次の 4 問でしたが、少し詳しい知識が要求される問題でした。

(新傾向問題)

- 問 9 デジタルハイビジョン対応の映像圧縮符号化方式
- 問 25 環境省の環境表示ガイドライン
- 問 26 M&A による垂直統合
- 問 30 サイバーセキュリティ基本法の対象

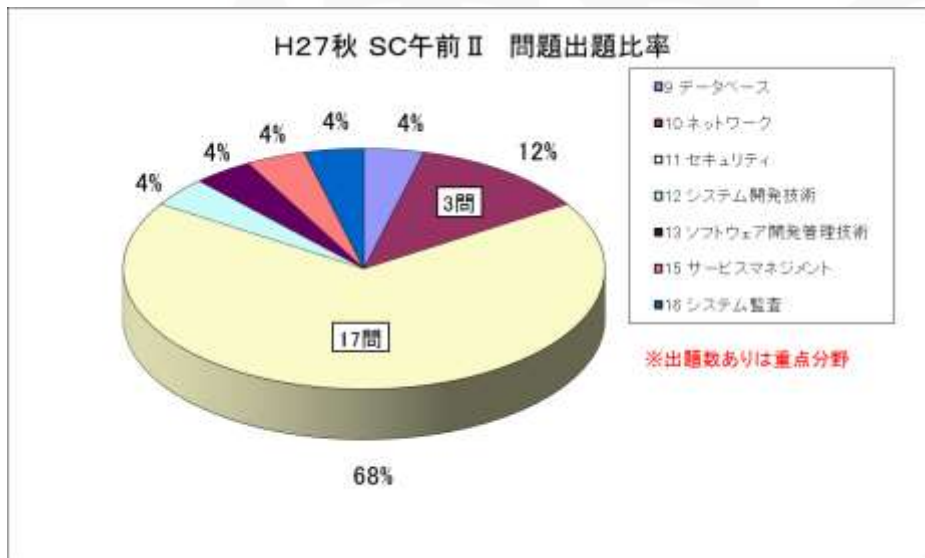
平成 27 年秋期の高度試験共通 午前 I 問題出題比率



(午前 II 試験 (専門知識問題))

午前 II 試験は基本的な問題が多く、セキュリティとネットワークの専門知識の出題数はそれぞれ 17 問と 3 問の合計 20 問でした (前回と同じ)。

平成 27 年秋期の情報セキュリティスペシャリスト試験 午前 II 問題出題比率



新傾向問題は次のとおりです。

- 問 3 ステートフルインスペクション方式のファイアウォール
- 問 6 ITセキュリティ評価及び認証制度の説明
- 問 8 水飲み場型攻撃の手口
- 問 9 不正のトライアングルの構成要素
- 問 17 OAuth2.0 の動作
- 問 20 TFTP の特徴

全体の難易度は過去問題が多かったこともあり、従来よりもやや易しかったといえます。

次に、午後 I と午後 II 試験の分析結果をお知らせします。

(午後問題)

・午後Ⅰ問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。前回試験と同様に1問あたりの設問数が多く、受験者負担が大きいといえます。

・出題内容はすべての問題で技術系の知識が必要で、午前Ⅱ専門知識の理解度を高めておくことが重要といえます。なお、前回に続いて今回もセキュアプログラミングの問題が出題されませんでした。

問1 ソフトウェアの脆弱性への対応（食品販売会社のサーバ脆弱性） 普通

Struts の脆弱性、情報セキュリティの3要素、攻撃手法の理解、WAF の方式検討とルール設計（正規表現）、動作検証、誤検知

問2 特権 ID の管理（食品製造販売会社の顧客情報管理） 普通～やや難

顧客情報の不正持出し、管理ツールの運用、サーバアクセス者の特定、ファイアウォールの設定見直し、不正操作の検知、資産管理

問3 Web サイトのインシデント対応（精密機器製造会社のデータ共有） 普通～やや難

不正侵入のインシデント対応、侵入順序の考察、アクセスログに基づく攻撃の考察、FW のフィルタリングルールの見直し、防止する攻撃

・午後Ⅱ問題の出題分野とテーマは次のとおりです。2問ともマルウェア、暗号化の知識がないと60点を取るのが難しい内容で、専門知識の理解度を高めておく必要があります。問題文の量が相変わらず多いので、要領よく問題事例を理解する必要があります。

なお、平成21年春期の実施から初めてのことで、午後Ⅱ試験でセキュアプログラミングの出題がありませんでした。

問1 シンクライアント技術を利用したマルウェア対策（金融機関） 普通（14ページ）

標的型攻撃、必要な通信、マルウェアによる通信や動作、FW で禁止しているマルウェア通信、業務要件を踏まえたシステム設計案、回線速度の計算、セキュリティ監査

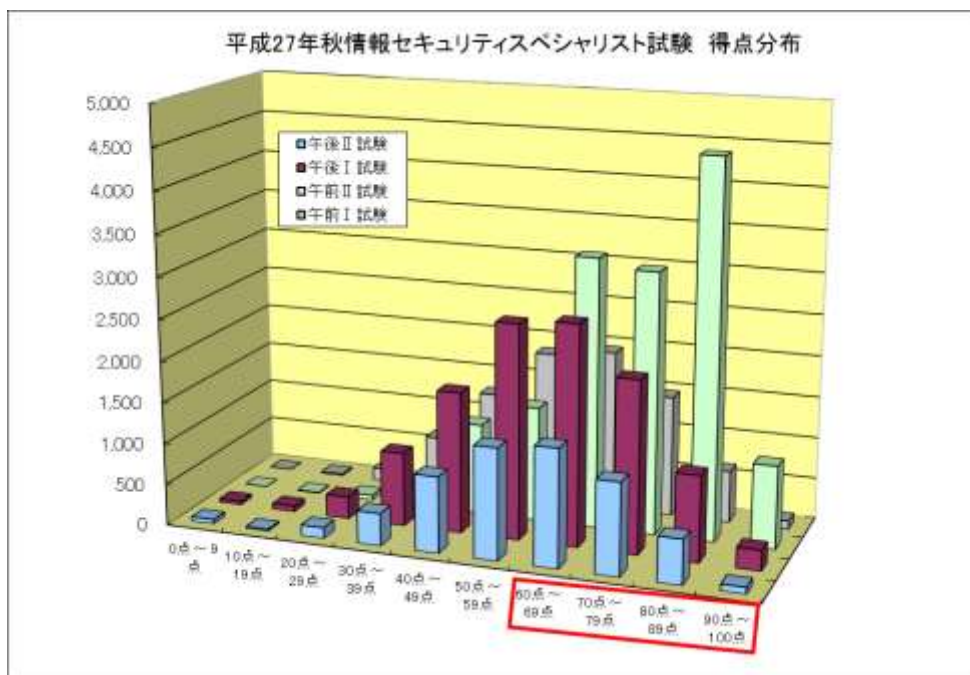
問2 データの取扱い（コンテンツ受託制作会社） 普通（13ページ）

オンラインストレージサービスの利用方法見直しや追加機能、関連法規、ブロック暗号アルゴリズム、フォルダの暗号方式、パスワード強度の計算、ファイルのマルウェア感染への対策

(平成27年秋期 情報セキュリティスペシャリスト試験 スコア分布)

得点	午前Ⅰ試験	午前Ⅱ試験	午後Ⅰ試験	午後Ⅱ試験	合格者
0点～9点	3	2	43	53	
10点～19点	21	9	68	22	
20点～29点	155	56	269	131	
30点～39点	640	230	892	392	
40点～49点	1,272	1,102	1,700	918	
50点～59点	1,848	1,387	2,583	1,339	
60点～69点	1,940	3,244	2,647	1,415	
70点～79点	1,463	3,138	2,071	1,108	
80点～89点	629	4,504	1,037	539	
90点～100点	102	1,002	248	79	
計	8,073	14,674	11,558	5,996	3,141
対前試験比率		181.8%	78.8%	51.9%	52.4%
午前Ⅰ免除者(概数)	10,857	57.4%			

合格者数	3,141	採点者数の割合	合格者数との差
午前Ⅰ60点以上合計	4,134	51.2%	993
午前Ⅱ60点以上合計	11,888	81.0%	8,747
午後Ⅰ60点以上合計	6,003	51.9%	2,862
午後Ⅱ60点以上合計	3,141	52.4%	0



新試験制度で午前 I 試験免除になった人がたくさんいますが、得点分布を分析してみると、今回午前 I 試験の免除者は概算で 10,857 人（57.4%）おり、受験者の大半の人が午前 II からの受験となっています。

高度系共通の午前 I 試験で基準点（60 点）以上の人は 4,134 人（受験者の 51.2%）でした。比率では前回の 59.6%から 8%ほど下がっており、前回と比べて少し難しい問題が多かったことが理由として考えられます。

午前 II 試験で基準点以上の人は 11,888 人（受験者の 81.0%）でしたが、前回の 61.4%と比べると 20%近くも上がっています（前々回は 65.0%）。最近では難しい問題が増え、基準点以上になる人が少なくなる傾向でしたが、今回はこれまでに比べるとかなり易しい問題が多かったといえます。

午後 I で基準点（60 点）以上取れた人は採点者の 51.9%で、前回試験の 55.3%と比べて約 4%ほど下がっています。また、午後 II で基準点（60 点）以上取れた人は採点者の 52.4%で、こちらは前回試験の 53.8%と大きな変化はありませんでした。

(今回合格された人)

今回見事合格された方で、16 春期試験でデータベーススペシャリスト・エンベデッドシステムスペシャリスト・プロジェクトマネージャ・システム監査技術者の試験合格を目指す方は、午前の試験が午前Ⅰの共通知識と午前Ⅱの専門知識に分れます。

午前Ⅰ試験は免除になりますので、午前Ⅱの専門分野知識について、なるべく早く試験対策を開始してください。まずは該当分野の応用情報技術者試験の問題を解いてみましょう。

高度系種別を受験するにあたっては、出題範囲を網羅した通信教育の『午前Ⅰ免除コース』がおすすめです。基礎から段階的に知識の積み上げを行いたい方には「書籍」「WEB 教材」「WEB テスト」「公開模試」の合格のために必要な知識を体系立てて身に付けることが可能なコース学習『試験対策コース』がおすすめです。

その他、学習にあたっては、午前試験対策に重点をおいた『宿題メール』。午後試験対策には、受験対策のプロ講師から直接学べる『合格ゼミ 午後試験対策セミナー』など、学習アイテムを豊富に取り揃えております。午前Ⅰが免除になり、かつこれまでの学習で身に着けた知識が鮮明なうちに次の資格試験にチャレンジすることが、合格への近道です。次のステップアップを目指しましょう。

(今回残念ながら不合格だった人)

まず、自分がよく理解していない内容について早めの学習が必要です。苦手な分野は、アイテック刊行の新試験用のレベル 3 のテキスト教材などを活用し、じっくり学習してください。今回の午前試験の得点が 50 点～59 点の人は、合格までほんとうに"あと一步"のところまで実力が付いていますので、学習した知識が薄れないうちに、早めに次回試験の対策として復習を行い、新たに加わった分野の学習から始めましょう。

また、午後試験の得点が 60 点に満たなかった人は、確実に得点するために、落ち着いて問題を解き、解答が正しいかを検証する力を付けましょう。選択範囲が広がったことで解答しやすい問題を選ぶことができますので、チャンスが広がると考えて、早めに対策を始めましょう。

なお、午後試験に強くなるには、時間を決めた問題演習やアイテックの模擬試験を会場で受けるなど、試験会場の環境を考えたうえで問題を解く訓練を行うのが有効です。

再受験のための学習にあたっては、弱点補強中心に学習を行いたい方やすでに教材をお持ちの方はトレーニング問題とポイント解説、午後の音声講義によるポイント解説などの充実したコンテンツの『演習コース』、講師から直接指導を受けることでその場で自身の弱点分野を把握、克服ができる『合格ゼミ 午後試験対策セミナー』がおすすめです。

その他、各種豊富な学習メニューを用意しております。

2016 年春期試験対策の新しい書籍については弊社のホームページからご覧ください。

(<http://www.itec.co.jp>)

■現在刊行済みの2016年用 試験対策書籍

- ・試験対策のプロが選び抜いた「良く出る問題」を多数収録!!
- ・出題傾向を分析、定番問題と頻出問題を掲載、予想問題集が装いを新たに登場!! **好評発売中!!**



- ・午後試験対策おすすめ書籍 **好評発売中!!**



- ・問題演習おすすめ書籍 **好評発売中!!**



- ・論文対策おすすめ書籍 第4版に改訂!! **好評発売中!!**



■今後の刊行予定書籍

- ・「2016春 徹底解説 情報セキュリティスペシャリスト 本試験問題」 **2016/1/末 発売予定**